

各会計に対する各会派の賛否

会 計	結 果	自 民	公 明	未 来	共 産	品 改	維 新
一般会計	可決	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
国民健康保険事業会計	可決	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
後期高齢者医療特別会計	可決	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成
介護保険特別会計	可決	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成
災害復旧特別会計	可決	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
【修正案】一般会計	否決	反対	反対	反対	賛成	反対	反対
【修正案】国民健康保険事業会計	否決	反対	反対	反対	賛成	反対	反対

日本共産党品川区議団

「自己責任の社会」やこれまでの福祉削減の歴代区政を転換し、権利としての社会保障を大きく前進させる点を評価し、一般会計に賛成。

教育無償化では憲法26条を引き、

制服代・修学旅行費の無償化、大学生の給付型奨学金。高齢者・障害者施策では、地域包括支援センターの検討、補聴器購入費助成額の2倍化、入院中紙おむつ代の所得制限撤廃と増額など、住民運動と共産党の議会論戦で求めてきたものが多数実現。子育て支援でも「子育ての社会化が必要」と、第一子の保育料、すまいるスクール基本利用料無償化等が実現。また、障害を親の責任とせず障害児通所施設等の利用料無償化等が盛り込まれた事を評価。ジエングー平等は新年度に推進計画が策定されるが、更なる前進を期待する。

区長が述べる「構造的課題」「自己責任社会」とは、大企業の利益を優先し福祉を削減してきた自公政治がつくったもの。共産党は、自民党政治にかわる新しい政治を求める世論の中で品川で始まった前向きな流れを進めるため、力を尽くす。一方、再開発・道路や羽田新ルート、リニア、公務労働者の処遇、非核平和など、転換や修正が求められるものについては、今後も厳しく批判し、ただしていく。

品川区議会自民党・無所属の会

令和7年度予算案では新庁舎建設等の特殊要因を除くと5.7%アップの伸び率として過去最大の予算となりました。人を基軸として予算編成を磨き上げ捻出した20億円余の財源をウェルビーイング予算として大胆かつ重点的に予算を振り分けており評価致します。会派としては、来年度予算編成の過程において、区長への予算要望をはじめ、部課長へは、各項目に対する勉強会や意見書の提出などをして参りました。民間喫煙所の助成拡大・子どもの食の支援・第1子保育料の無償化・私立幼稚園保護者補助金の拡充・介護職員等住まいの支援・73歯科健診の実施・障害児の通学支援・中学生標準服の無償化など、会派からの要望が多数予算化されました。一方で当予算委員会での理事者答弁において予算の積算や内訳説明で未定や今後の検討との発言が目立ち審議に疑念が生じたケースが見受けられ、またプレス発表前の情報漏洩もルールを守ってきた議会側としては複雑な心境であり、こちらも執行側と議会側との信頼関係の構築に影響を及ぼします。議会と行政の信頼維持のため区長をはじめとする執行部、行政サイドの認識、コンプライアンスの徹底、今後の答弁をはじめとする議会対応の改善を要望し、意見表明とします。

品川区議会公明党

公明党の理念である「生命・生活・生存を最大に尊重する人間主義」の具体化、「貯蓄ゼロでも不安ゼロ」の社会を目指す考え方に對し、区長は「弱者を救うのではなく弱者を生まない社会」「人間が自分らしく暮らしていく上で不可欠な生活の基礎となる行政サービスを得る制限なく全ての人に提供する」「社会を築いていく、と応え、ベシツクサービス論も踏まえ編成し提出された予算案には、会派が取り組んできた所得制限のない中学校標準服・修学旅行費、第一子保育料、私立幼稚園保護者補助金、給付型大学奨学金、終活支援サービスの無償化等が計上された他、朝の児童の居場所確保・朝食支援、子ども・若者の区政参加、高齢者等住まい支援、障がい者生活介護延長、5歳児健診、骨粗しょう症検診、路上喫煙対策、妊産婦・高齢者歯科健診、避難所機能強化、公共交通、被爆ピアノ演奏等の事業予算が組まれた。予算審査では、火災対応、道路下空洞対策、トイレトラック、高齢者等見守り・居住支援、デフリンピック、防犯器材、舟運広域展開、学校給食・標準服と地域取扱い店、学校改築等について指摘・提案した。予算執行及び今後の施策展開に向け真摯に受け止め、区政に反映されるよう要望する。

しながわ未来（無所属・立憲・ネット）

R7度予算は当会派の政策要望を取り入れ、プレミアム付きデジタル商品券等の区内経済の活性化推進、産後ケアサービス予約のオンライン化、孤独孤立対策の推進、認知症検診の対象年齢の年齢拡大等子育て世帯や高齢者・障害者の区民生活支援強化、中学校標準服無償化等の学校教育強化、女性や若者などの多様な視点での災害対策の強化等防災対策強化、公契約条例制定等、特徴的な施策を盛り込み、変化の激しい時代のニーズを捉え、柔軟に対応した積極予算としたことを評価いたします。今後も区民福祉の向上に向けAIやIoTなどの最先端技術の活用や、利便性・効率性向上につながるデジタル化のさらなる推進、産前産後子育て支援の充実、学校教育の充実、障害者福祉・高齢者福祉の充実、地域経済活性化施策の推進、防災対策の強化、環境対策の推進、庁舎建て替え、羽田新ルート問題、多様性の推進、職員人材育成強化、デジタル地域通貨やポイントサービスの推進など、各課題への積極的な取組を着実に進めるとともに、当会派所属議員が質問の中で指摘・提案した各項目を真摯に受け止め、予算執行することを要望します。今後も引き続き、多様なニーズに迅速かつ柔軟な対応をしていただく様お願いします。

品川改革連合

令和7年度の一般会計、国民健康保険事業会計と、後期高齢者医療・介護保険・災害復旧の特別会計の各予算に賛成し、共産党の予算修正案に反対します。商売に活気が戻ったものの、国民大半の収入が増えない中で、税金や社会保険の負担増、戦争や異常な円安で光熱費や物価の高騰が続き、多くの国民の家計と企業経営は悪化が続いています。買い控えや節約で消費が減少、中小企業は値上げ出来ず人手不足と資金難で廃業や倒産が増えているので、区は公平な支援をして頂きたい。また介護・保育・幼稚園関係者の賃上げと労働環境を改善すると共に、家族が、子ども・高齢者・障がい者を、予約なしで何時でも預けられる施設の開設をして頂きたい。そして羽田新飛行ルートの変更と、ふるさと納税制度の改善を国に働き続けて頂きたい。高額所得者には社会保障費の負担増をお願いし行き詰まる福祉を支えて頂きたい。さらに都が採用する若手教員や職員を区が独自に採用し、離職ゼロを目指すために災害待機寮を増やすべきです。また費用が倍近くになった新庁舎建設はバブルが治まるまで延長すると共に、深刻化する不登校・いじめ・教育格差を改善して、子どもたちが社会で生き抜いて行ける教育をするべきです。

品川区議会日本維新の会

品川区議会日本維新の会は、今回の予算案を先進的なものとして高く評価しておりますが、一方で質疑の中でいくつかの指摘をさせて頂きました。

第一に、将来の財政シミュレーションの必要性です。行政運営においては、高齢者、現役世代のみならず、投票権のない、或いはまだ生まれていない将来世代の事も熟慮するよう求めます。

また、各種施策の目的に遡って議論する事が重要です。事業単位では価値が認められる場合でも、根源的な目的・課題を見つめ直すと事業に対する見方が変わりと考えております。

総括質疑では、先進的な事業の中には既存制度と思われぬ形で対立するものがあるという事例を取り上げさせて頂きました。利用者の声から顕在化した懸念を前向きに政策形成のブラッシュアップに活用して頂ければと考えます。

その他審議においては、病児保育の拡充、入学手続き・すまいるスクール登録手続きの電子化、児童の長期休業期間中の朝の居場所確保、区民保養所の見直し、自転車の交通事故予防、標準服の区内共通化等を取り上げました。区におかれましては、これらについて検討され予算の執行や今後の施策に反映して頂くよう要望し、品川区議会日本維新の会の意見表明と致します。